

# オウム対策住民協議会ニュース

鳥山地域オウム  
真理教(現アレフ)  
対策住民協議会

## 「観察処分」期間更新要請署名 一層の奮闘が必要

今年4月から始めた、「観察処分」期間更新の署名活動は、今月末で終了します。観察処分は3年間で期間満了ということで、住民協議会は、平成14年(2002年)より過去3回にわたり署名活動を行い、「観察処分」期間更新に貢献してきました。今回は4回目の署名活動となりますが、多くの皆様のご協力で活動は進んでいます。地域のイベント・お祭り会場では、住民協議会会員が署名を訴え、世田谷区町会総連合会、世田谷区商店街連合会などからも、各会員の協力で署名が集まっています。

世田谷区全域を始め、全国各地からも署名が寄せられています。前回(平成20年)にお願いした期間更新の署名数に、8月末日現在及んでいないため、引続



き皆様の絶大なご支援をお願いいたします。更に気がかりなことは、「観察処分」期間更新を決定する、公安審査委員会のひかりの輪への対応です。公安審査委員会は3年前「観察処分」期間更新の決定を掲載した政府発行の官報の文中で、「ひかりの輪の3年間の動向を注視する」という不可解な文書を発表しました。内容は、「元教祖、麻原彰晃が説く教義からの脱却」、「オウム真理教施設周辺住民の理解が得られたか」について、ひか

りの輪の3年間の活動内容を確認し、観察処分に処すか否かを決定するというものです。ひかりの輪は、官報の発表後この

事態を追い風と捉え、まやかしの「麻原からの脱却、地域住民との融和」という、観察処分のがれの目標達成に向け活動を展開してきました。これまでオウム



真理教(アレフ・ひかりの輪)は、団体規制法に基づく観察処分の実施により団体としての活動が規制され、危険な活動には踏み込めない状況が続いています。ひかりの輪が、今回観察処分の対象から除外となれば、地域住民の11年間の反対運動は水の泡と化し、地域の安全・安心に関わる大問題となります。

地域住民の皆様へのお願いです。公安審査委員会が「観察処分」期間更新を検討する際には、署名の筆数が重要な判断材料となります。これまで3回の期間更新にも署名の筆数が絶大な役割を果たしてきました。残り僅かな期間ですが、あと1筆、2筆の署名にご協力ください。オウム真理教の「解散・解体」まで力をお貸しください。よろしく

### 第23回 抗議デモ・学習会 11月12日(土)

- 抗議デモ 1:30集合 1:50出発 鳥山区民センター前広場
- 学習会 2:30開会 鳥山区民センターホール



#### 講演 『ひかりの輪の実態をあばく』

オウム真理教が「ひかりの輪」と「アレフ」に分裂して久しい。今回の学習会は鳥山地域に残っている「ひかりの輪」について徹底解明をこころみる。表面上は温健であるが、果してその内幕は!!

講師 滝本太郎氏 (弁護士)

主催：鳥山地域オウム真理教(現アレフ)対策住民協議会

共催：世田谷区



## 監視小屋だより

オウム真理教への監視活動は、地域住民の皆さんの協力があってこそ継続できます。現在は39の団体（町会・自治会、小・中学校PTA、青少年地区委員会、商店会）の皆さんが、年間のローテーションを組み、当番として監視小屋に立ち信者達の動向を日誌に記録しています。

＜日誌より抜粋＞

- ・サンサンマンションは3月31日で全員退去したとのこと。（公安調査庁より）  
フジテレビがサンサンマンションの前で住民協議会会長にインタビューしていた。10分程で終了、その後は住民へのインタビューあり。
- ・ひかりの輪は月1回開かれるミーティングの日に全国から信者が集まって来ているとのこと。（4月6日）
- ・GSハイムの一般住民の方よりお聞きしたことだが正面玄関は一般住民が使用し、建物向かって右側の通用門は、オウム信者等その関係者が使用している。
- ・ひかりの輪でセミナー開催、朝からかなりの人数の信者らしき人達がGSハイムへ入った。4時前には終了したのか？サマナ服風の男女の姿あり。若い女性の参加者が目立った。（4月30日）
- ・大きな炊飯ジャーや沢山の食器、鍋などを2階から1階に降ろしていた。30分程して食器類を2階に戻した。2階の部屋に出入りが多かった。エンジ色の修業衣？の女性、濃いグレーの修業衣の男性が出入りしていた。
- ・今日は午前の上祐と幹部、ほとんどの信者が明日と明後

日に大阪、名古屋で開催する行事の為出発した。

GSハイムにはわずかな人数しかいない。午前に出発した事は公安の人が教えてくれた。（5月28日）

- ・長野方面に出かけている様で、信者の出入りが少なく、静か。（6月4日）
- ・老いた女性、歩くのも苦痛の様子で2階より1階の部屋へ移動。他に3人の信者が2階より1階へ。中年女性、大柄な60代女性、ピンクのズボン細身の30代女性、外からの出入りはなかった。
- ・サンサンマンション解体工事が行われており、道路での監視は危ないとの事で、小屋内よりGSハイムの様子を監視した。部屋の移動は数回あった。
- ・今日は警察官の人数が多く、高温注意報も出ているので監視小屋で待機、14時20分頃より集会室で集まりがあったが、16時頃終了したようだ。（8月11日）

3月末までサンサンマンションに居住していたオウム真理教信者(アレフ)は全員退去しましたが、GSハイムには上祐史浩が代表をしている「ひかりの輪」の道場があり、信者達は修業用の服(サマナ服?)を着て施設内を移動し、5月、8月には多くの信者を集めてセミナーを開催しました。信者の数は減少しましたが、住民対策協議会の活動は今後も変わることなく、オウム真理教「解散・解体」を目標として地域住民の皆さんと共に監視を続けていきたいと思います。今後ご協力、ご支援をお願いいたします。

## 「観察処分」期間更新の署名、若者に反響!!

7月24日(日)烏山区民センター前広場にて「観察処分」期間更新の署名活動をおこなった。参加者は8名で、久しぶりの署名活動ということもあり、最初は署名をお願いする声も小さかったが、慣れるに従い何時もの調子が出てきた。「観察処分」期間更新を求める署名運動は、2002年以来継続しているが、その反響は年々下降線を辿っているのが実情だ。それでも、マイクでの訴えに耳を傾けていた人が歩み寄り署名をす

るなど、少なからず反響があることに力を得た。

今回の署名活動の最大の収穫は、若者が積極的に署名に応じる姿が多いことだ。話を聞くと、オウム真理教について先生が話をしてくれたという。多くの先生が生徒に話をしてくれたら、私たちの活動も若い世代に引き継げるとの期待がもてた。

約1時間の活動であったが、200筆ほど署名が集まり、少なくない募金も寄せられた。活動後参加者の口々からは、「もっと街頭で署名活動をして盛り上げよう」との声があがった。

## 住民協議会活動報告

- 7月17日(日) 健康フェスタで署名・募金活動
- 7月20日(水) 実行委員会
- 7月22日(金) 夏休み親子の映画会で募金活動
- 7月23日(土) 千駄山ふれあい祭りで署名・募金活動
- 7月24日(日) 烏山区民センター前広場で署名・募金活動
- 7月30日(土) 新樹苑盆踊り大会で署名・募金活動
- 8月1日(月) 事務局会議
- 8月3日(水) 芦花公園駅前盆踊り大会で署名・募金活動
- 8月4日(木)～6日(土) からすやま夏まつりで署名・募金活動

- 8月9日(火)～10日(水) 給田納涼盆踊り大会で署名・募金活動
- 8月12日(金) 住民協議会学習会
- 8月18日(木) 実行委員会
- 8月26日(金)～27日(土) お笑い夏まつり'11で署名・募金活動
- 8月27日(土) 八幡山町会の納涼まつりで募金活動
- 8月28日(日) 夏休み親子木工まつりで署名・募金活動
- 8月29日(月) 協議会ニュース108号初校正
- 9月4日(日) 烏山区民センター前広場で署名・募金活動
- 9月5日(月) 協議会ニュース108号再校正
- 9月6日(火) 事務局会議
- 9月13日(火) 協議会ニュース108号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。